

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	伊勢市おおぞら児童園 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	令和8年1月16日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士・言語聴覚士・作業療法士など)が連携し、支援を行っています。	療育前後のカンファレンスや記録の共有を通して、多職種が日常的に情報共有をしています。また、専門職員の専門的視点と、保育士の生活・遊びの視点をすり合わせ、支援方法を検討しています。	定期的なカンファレンスで多職種間の理解を深めたり、外部研修会への参加や園内での職員研修を実施したりし、支援の質の向上を図っていきます。
2	ペアレント・トレーニングを実施したり、その要素を取り入れて保護者支援を行ったりしています。	今年度は、グループでのペアレント・トレーニングの実施はありませんでしたが、その内容を分かりやすい資料にまとめ、資料をもとに個別で保護者に子どもへの関わり方を伝えています。また、職員がペアレント・トレーニングの考え方を共通理解し、保護者支援に活かしています。	引き続き、ペアレント・トレーニングなどを実施し、保護者支援をしていきます。
3	親子通園のため子どもの家庭での様子を共有しやすく、保護者の困り事等の相談に迅速に対応することができます。	療育後のフィードバックの時間を利用し、子どもの家庭や保育園等での様子の聞き取りや、支援内容の共有を行っています。また、困り事等の相談には迅速に対応するようにしています。	今後も子どもの様子や支援について保護者と共通理解を深めるとともに、困り事等の相談に対して適切な助言と支援を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を実施していません。	保護者同伴で通園していただくことにより、直接保護者と子どもの様子について情報共有できることを重視しています。	送迎は実施していませんが、通所しやすい環境づくりと関係機関との連携により、安心して利用できる体制づくりに努めていきます。
2	集団活動として、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありません。	事業形態として預かり型ではなく個別または小集団の療育のため、放課後児童クラブや、児童館との交流はありません。	地域の夏祭りへの参加を通して、個別での地域の子どものとの交流を継続していきます。
3			

	20	こどもの保護者と意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	98%	0%	0%	2%	
	21	定期的に通信やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信されていますか。	67%	9%	0%	24%	通信や自己評価の結果等をホームページに掲載しています。3月にはおおぞらだより（活動報告）を掲載します。保護者にホームページに掲載していることをさらに周知していき
	22	個人情報の取り扱いに十分留意されていると思いますか。	93%	0%	0%	7%	契約時にかわす個人情報使用同意書に基づき、個人情報の取り扱いには注意しています。
非常時等の対応	23	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	89%	2%	0%	9%	
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難消火訓練等の必要な訓練が行われていますか。	85%	2%	0%	13%	毎月避難消火訓練を一部の利用児を対象に実施し、掲示板を通じてお知らせしています。
	25	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われたうえで支援が行われていると思いますか。	98%	0%	0%	2%	
	26	怪我や事故が発生したとき、速やかな連絡や事故の状況について説明がされていると思いますか。	96%	0%	0%	4%	
満足度	27	こどもは安心感をもって通園していますか。	100%	0%	0%	0%	
	28	こどもは通園を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	いつも楽しそうに通っている。
	29	おおぞら児童園の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	小学2年生まできめ細やかな対応をしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名	伊勢市おおぞら児童園		公表日		令和8年 2月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所の人員、設備及び運営に関する基準」以上のスペースがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所の人員、設備及び運営に関する基準」以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		課題に集中しやすい環境設定を行っています。設備等は、バリアフリー化等環境の配慮を適切に行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃や感染症対策として換気、消毒を行い、清潔な環境を作っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもが気持ちを落ち着かせるための個別室があり、必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当者会議・療育会議・職員会議を定期的に行い、支援内容についてPDCAサイクルによる業務改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回の保護者向け評価表の結果を踏まえて、職員間で共有し業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議等で職員間で業務改善についての意見を出し合い、その都度改善をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		昨年度より第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県や他施設、医療機関等が主催する研修会に参加したり、毎月、園内研修を実施し、職員の質の向上を図っています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページで公表するとともに園内に掲示しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員で立案会議を行い、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		令和7年4月より新しいアセスメントツールを使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、グループのリーダーを中心として職員間で連携して立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月1回以上療育会議を行い、活動プログラムを検討しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援実施毎に反省会をして記録をすることを徹底し、今後の支援に活かしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に、グループの担当職員間で支援の内容や役割分担について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		グループの担当職員間で子どもの様子や支援方法について反省会を行っています。必要に応じて専門職の意見を取り入れています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		担当職員以外が見ても分かるように支援提供毎に記録を作成し、支援の検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で選択したり、子ども同士で考え意見を出しあったりするなど、自己決定をする機会を意図的に設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等関係機関と連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の了承のもと学校見学に行ったり、教員が見学に来たりするとともにサービス担当者会議等で支援内容等の情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて保護者の了承のもと、就学前に利用していた保育所・事業所等との間で情報共有をし、相互理解を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		当園は最長でも6年生までの利用となるため、必要に応じて保護者の了承のもと、移行先の放課後等デイサービス事業所へ情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターを併設しているため、常に連携をとり、助言や研修を受ける機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			集団活動としては難しいですが、地域の夏祭りの参加を通して、個別での地域の子どもとの交流を図っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		伊勢市と志摩市の障害者施策推進協議会の子ども発達支援部会の会議に参加し、情報共有をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後の保護者へのフィードバック等で子どもの発達の状況や課題について話をし共通理解をしています。必要に応じて個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者学習会を年3回実施しています。また、ペアレント・トレーニングの要素を取り入れた子どもの関わり方について必要に応じて個別で保護者に話をしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定・支援プログラム・利用者負担金等については契約時に丁寧に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画を作成する際には、保護者の意向や子ども自身の意思を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの相談に適切に応じ、面談や具体的な支援方法の助言を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はないが、保護者交流会を年2回実施しています。また、ペアレント・トレーニングや保護者学習会を通じて保護者同士が交流できる機会を作っています。療育に同行しているきょうだいは、待合室でのきょうだい交流ができています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		園だよりを月1回、保健だよりを年4回、おおぞら活動報告だより、専門だよりなどの発行、活動概要などをHPへ掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載されている書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民を招待する行事は行っていないが、地域の夏祭りのコーナーを担当し、事業所紹介をする機会を設けています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル等は策定しています。職員間で発生を想定した訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定するとともに、非常災害発生を想定した避難、その他の訓練を定期的に実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者に聞き取りを行い記録をし、職員間で共有をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	-	-	食事の提供は行っていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に関わる研修を行っています。また、子どもが使用する設備や遊具等の安全点検を毎日行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を掲示し、療育の待ち時間を利用し家族等へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告書を作成するとともに朝礼や職員会議で情報共有を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、職員研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の適正化のための指針を掲示し、職員への研修及び保護者への周知に努めています。		